

新伊達博物館建築設計業務

設計説明書

KENGO KUMA & ASSOCIATES

隈研吾建築都市設計事務所

計画概要

敷地概要

計画敷地	: 愛媛県宇和島市天赦公園101番1、他 天赦公園内
敷地面積	: 11,792.91 m ²
都市計画区域	: 都市計画区域内(区域区分非設定)
用途地域	: 第一種住居地域
建蔽率	: 70%
容積率	: 200%
防火地域	: 指定なし
その他の規制	: 法22条区域、都市公園
主な法規・条例	: バリアフリー法・人にやさしいまちづくり条例
敷地面積	: 11,792.91 m ²
前面道路	: 国道56号(西面認定幅員12.81m、北面認定幅員18.13m)、市道(東面認定幅員19m)

建築概要

	博物館棟	附属棟
構造	RC造・S造・一部SRC造	RC造・S造
規模	2階	1階
建物高さ	13.75m	4.25m
主要用途	博物館	公園トイレおよび休憩スペース(博物館)
駐輪場	31台	9台
駐車場	建物西側: 一般車両19台 建物下: 管理車両4台・身障者用駐車場2台 現博物館側: 一般車両31台	

面積表

	建築面積	延床面積		容積対象面積	
博物館棟	2659.84㎡	1F	2452.01㎡	1F	2137.78㎡
		2F	1911.47㎡	2F	1873.31㎡
		合計	4363.48㎡	合計	4011.09㎡
附属棟	167.84㎡	175.78㎡		158.46㎡	
合計	2,827.68㎡	4539.26㎡		4169.55㎡	



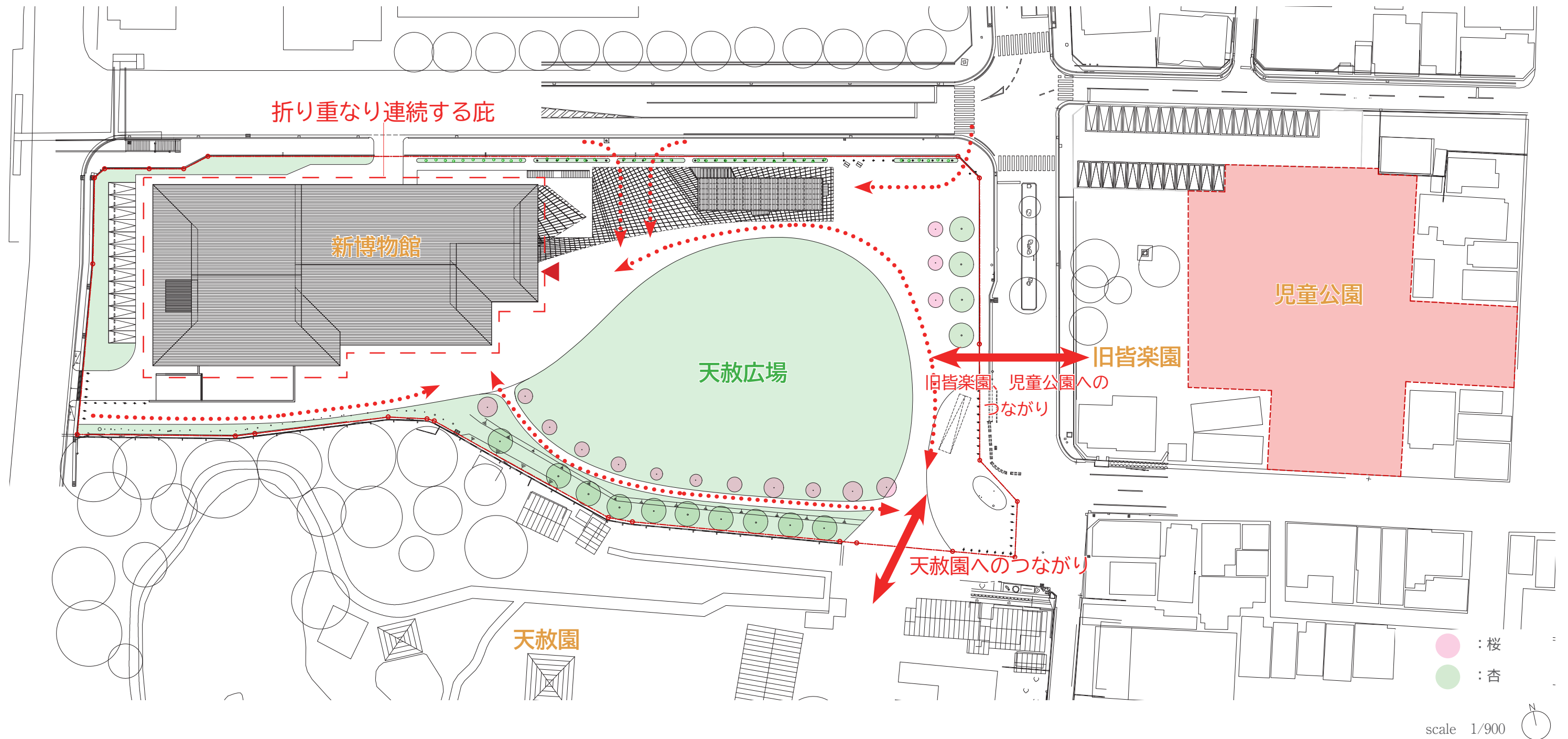
配置コンセプト



鳥瞰パースのイメージ

- ・天赦園から宇和島城への軸線を尊重し**圧迫感を軽減**するため、新博物館を敷地北西側に寄せる配置とします。
 - ・天赦園、皆楽園、新博物館で**天赦広場を囲う**形に配置することで、市民の活動を受け入れ、活性化する**宇和島の新たな活動拠点**として機能します。
- 広場に沿った底下空間「**エンガワのみち**」は、天赦園、旧皆楽園、新博物館をつなぎ、**宇和島の新旧をつなぐ**散策路となり、**宇和島・伊達文化を世界へ発信**します。

配置コンセプト



- ・広場に面して折り重なり連続する庇が、人々の居場所を作り、活動を受け入れます。
- ・日常使いだけでなく、地域で行われるイベントや祭りのサテライト拠点として、エンガワに囲われた広場が宇和島市の地域の伝統を伝えます。
- ・様々な利用が可能なように広場はフラットな緑地天赦広場を極力広く確保し、その植生は維持管理が容易な種を用いて、積極的なイベント活用を促します。
- ・移植した桜と杏の木を天赦広場へ戻す計画とします。

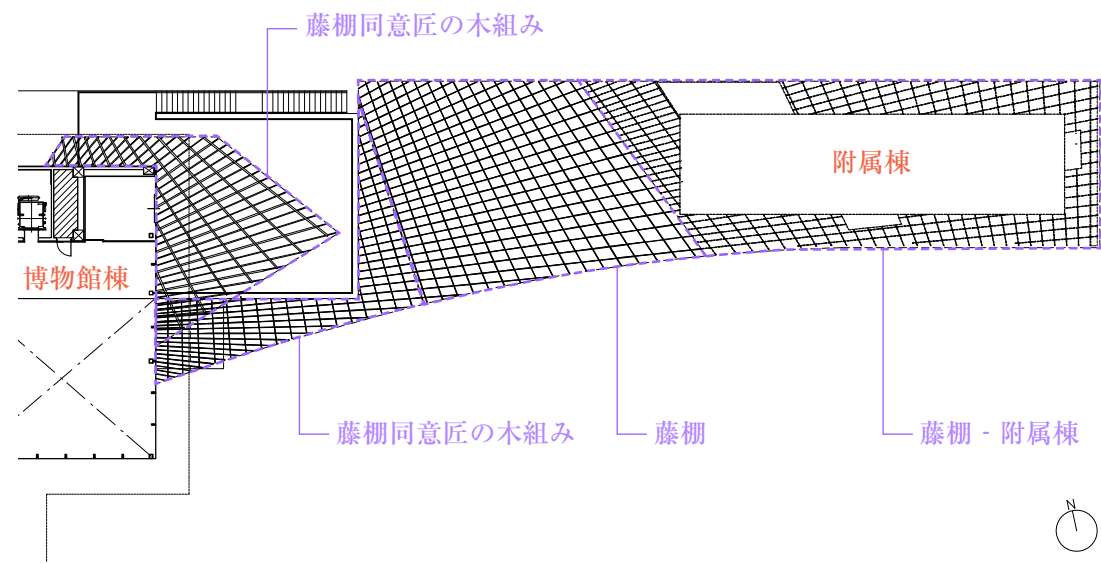
景観デザインコンセプト



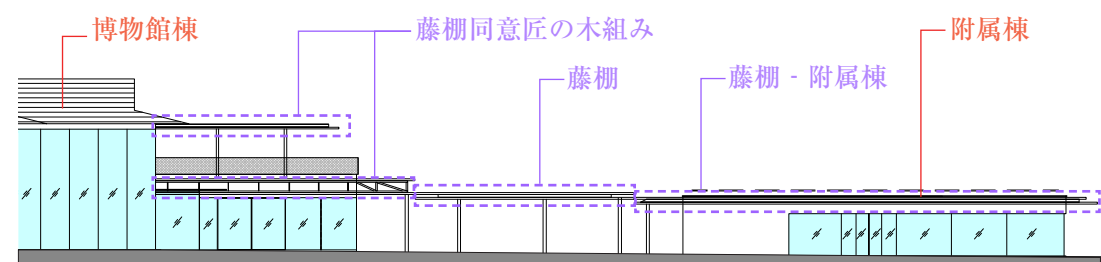
天赦広場から博物館をのぞむ

- ・勾配の緩やかな大屋根が、美しい山並みに呼応し、街並みに溶け込む低い軒が宇和島らしい風景を作ります。
- ・また、屋根形状は屏風絵に見られる浜御殿、宇和島城と同じ入母屋形式の屋根形状とし、宇和島の過去と現在をつなぎます。
- ・先端が薄くシャープな軒庇は日本建築らしい軽やかさと進取の気風を持つ宇和島の先進性を表します。

景観デザインコンセプト



藤棚配置図
scale 1/500



藤棚立面図
scale 1/500



天救広場から藤棚をのぞむ



国道56から博物館をのぞむ

- ・新博物館と附属棟の間の底は藤棚とし、宇和島市のあちこちで見られる、藤棚のネットワークの一部となります。
- ・開花時には天救園とともに市内各所の藤棚をめぐる起点として機能し、街全体の魅力を発信する拠点となります。
- ・開花シーズン以外においても、広場に木陰を作る、人々の憩いのエンガワとして機能します。

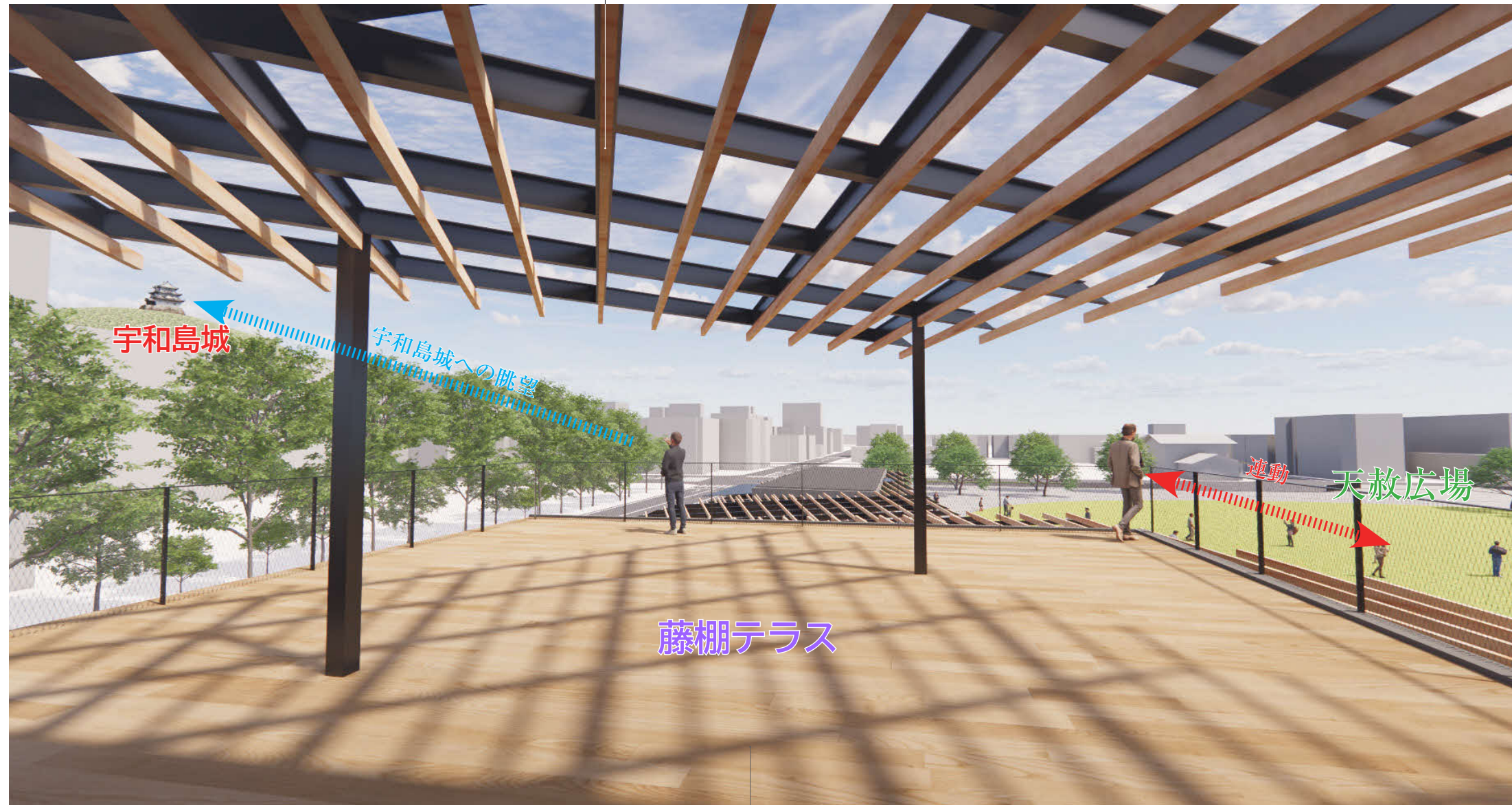
景観デザインコンセプト



- ・天赦園の潜淵館のデザインをモチーフとした杉（南予材）の藤棚が、敷地全体を緩やかにつなぎます。
- ・この藤棚は伊達文化の表象ともなります。
- ・方向性を持って配置された木格子が来館者を新博物館の入口へと導きます。
- ・この木格子は室内にも配置され、内外の連続性を感じさせます。

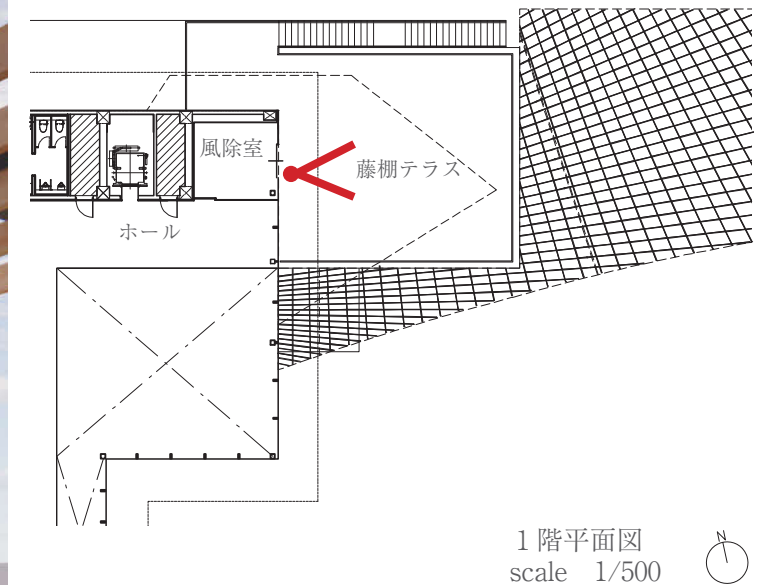
景観デザインコンセプト

藤棚同意匠の木組み（南予材）



床：人工木デッキ

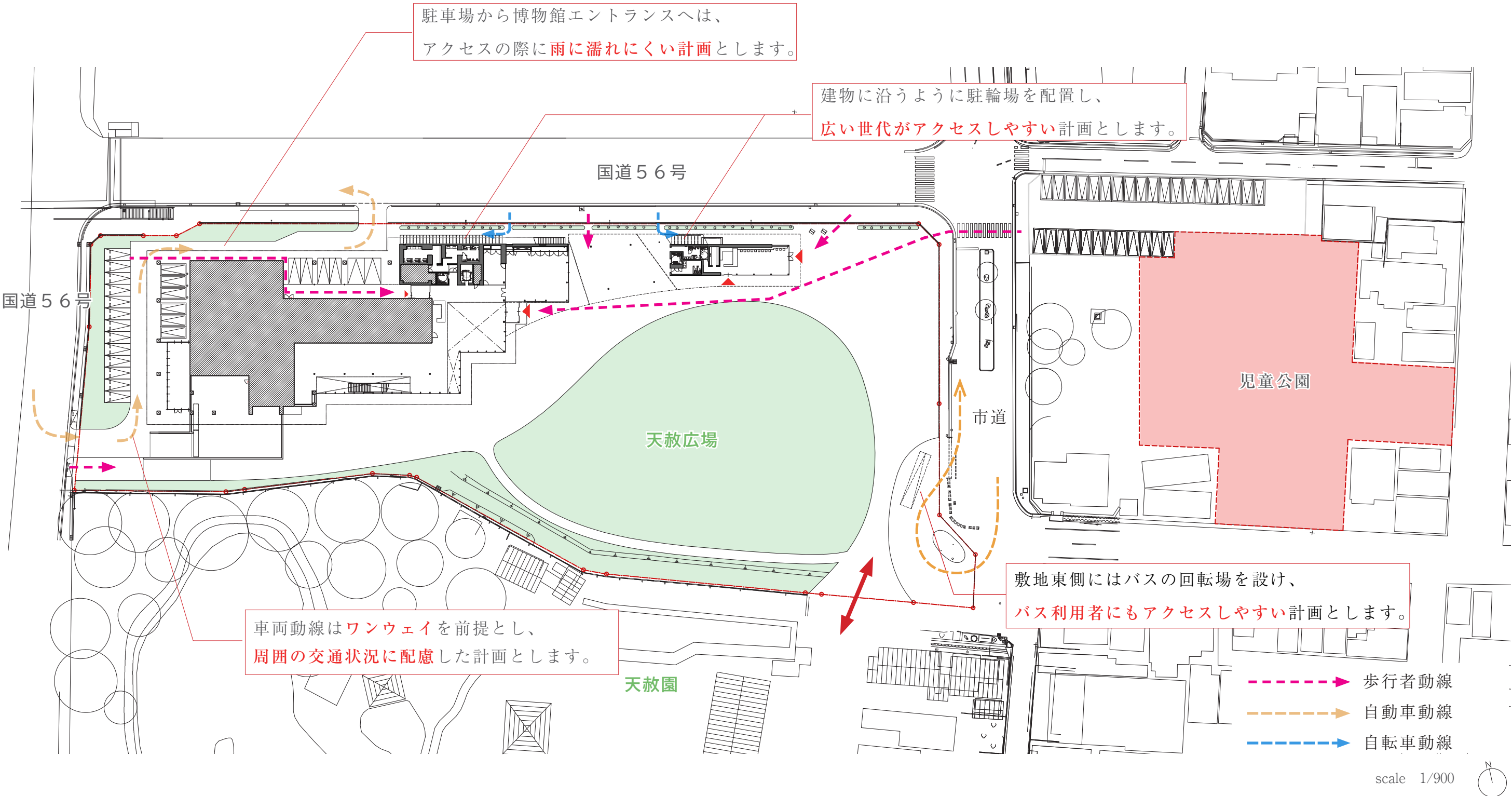
キープラン



□宇和島城を望む藤棚テラス

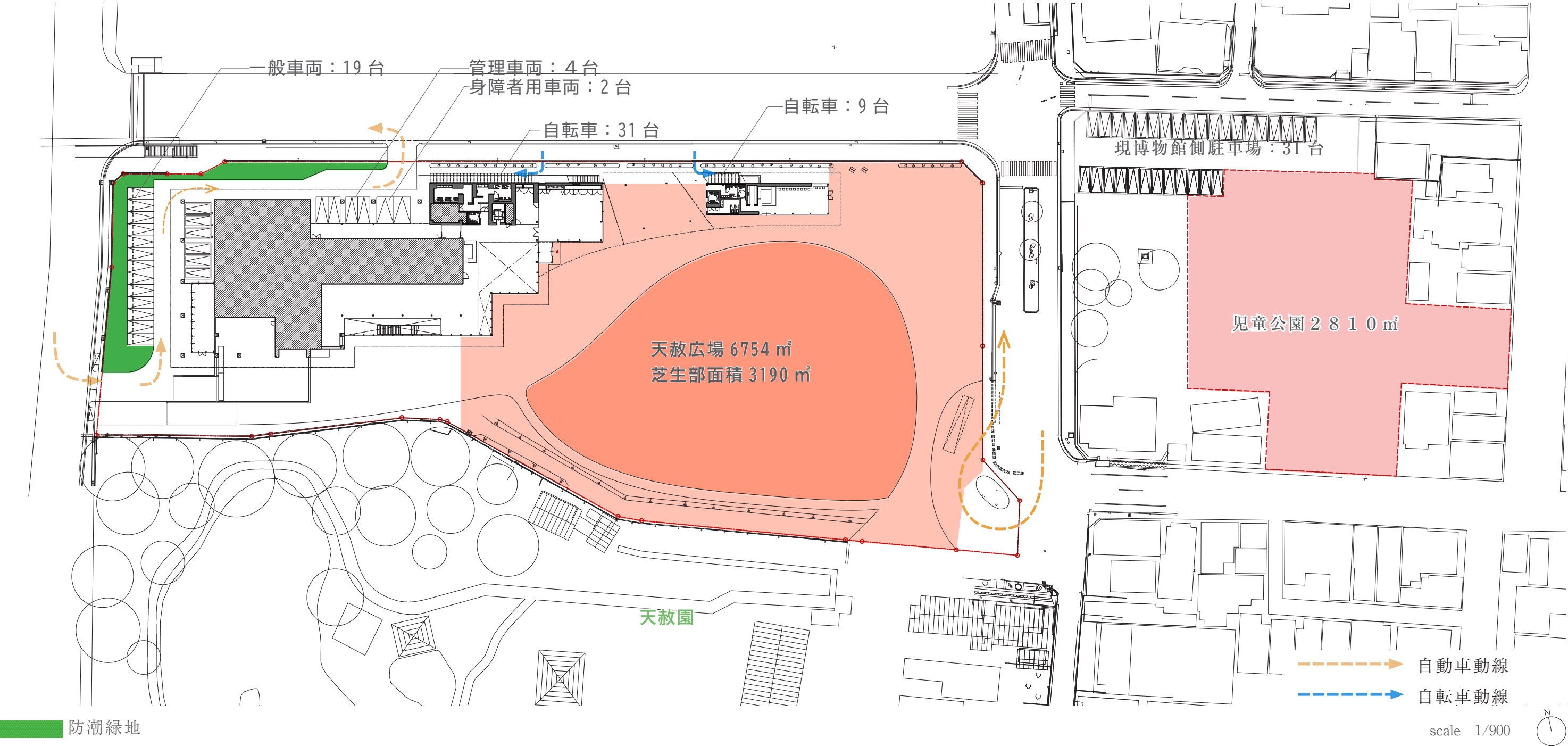
- ・藤棚同意匠の木組みの角度を調整し、宇和島城を眺めます。
- ・宇和島城を望む藤棚テラスは展示を見た後も宇和島の歴史に思いを馳せることができます。
- ・藤棚意匠で藤棚テラスと天赦広場を連動させます。
- ・広場と連動した利用も可能です。

敷地動線計画



- ・敷地には多くの箇所から入ることのできる、広く開かれた計画とします。
- ・天赦広場には回遊動線を設け、様々な利用に配慮するとともに、広場から天赦園に直接アクセスできる計画とします。

配置計画

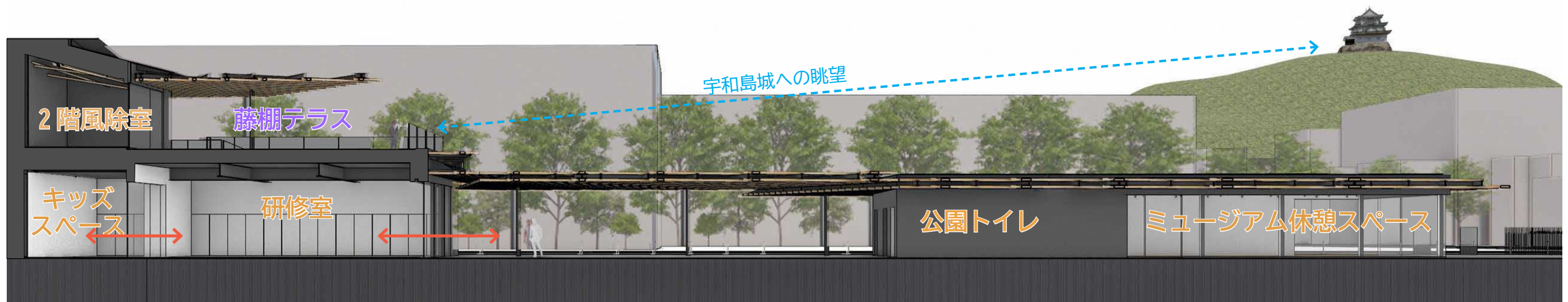
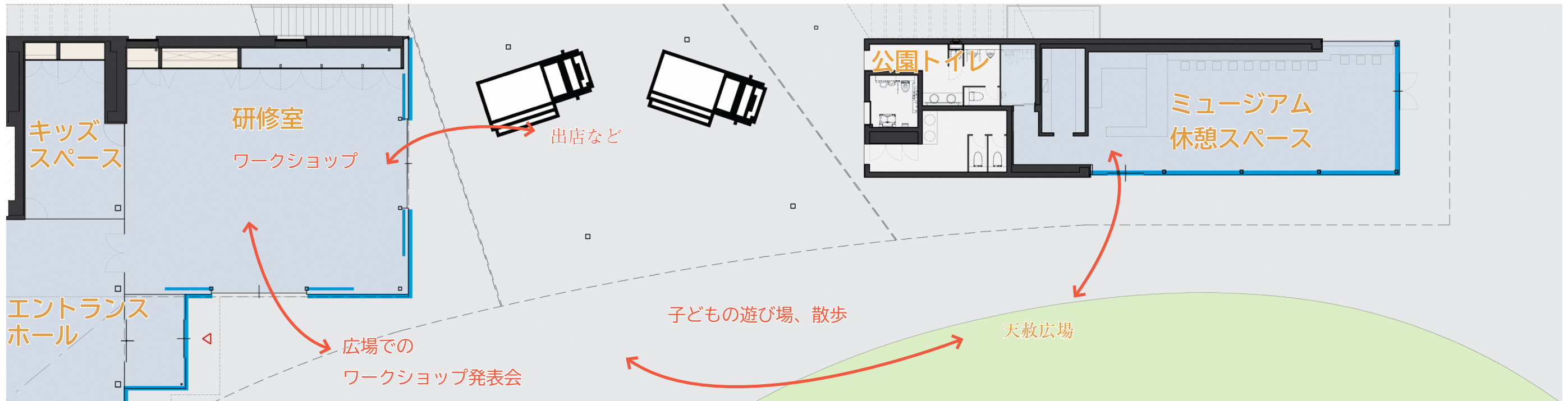


- 駐車場から建物入口まで：西側から約 66 m
現博物館駐車場から約 113 m
- 駐車場台数：建物西側 19 台
建物下 6 台 (管理車両：4 台、身障者用駐車場：2 台)
現博物館側 31 台
合計 56 台
- 駐輪場台数：40 台

天赦広場
現状：7383 ㎡
計画案：6754 ㎡

児童公園
現状：3100 ㎡
(トイレ、出入口スロープ等を含む)
計画案：2810 ㎡

配置計画



- ・公園トイレも一体的に配置させることで、休館日でも様々な屋外活動が可能です。
- ・附属棟とともに広場に開き、広い世代が博物館に集う場となります。
- ・キッズスペースと研修室を隣接させることで子ども向けワークショップの開催時、柔軟な運用を表現します。
- ・キッズスペースはエントランスホールに隣接し、安心して子ども達を遊ばせる場となることで、早くから宇和島の歴史と文化に触れる機会をつくれます。

研修室計画

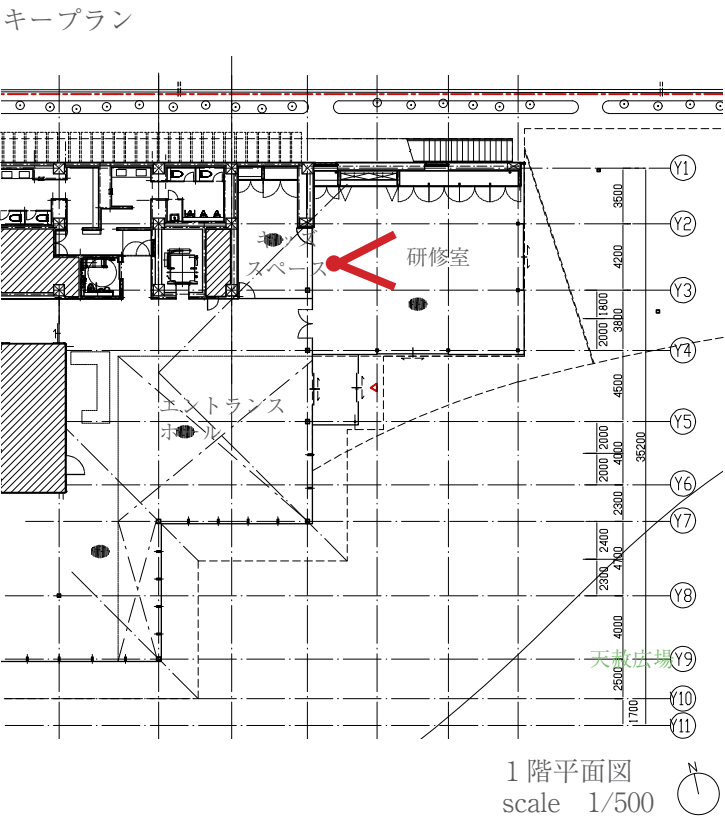
壁面: アクリル塗装

天井:GWマット不織布巻き



床: (南予材) 圧密加工フローリング

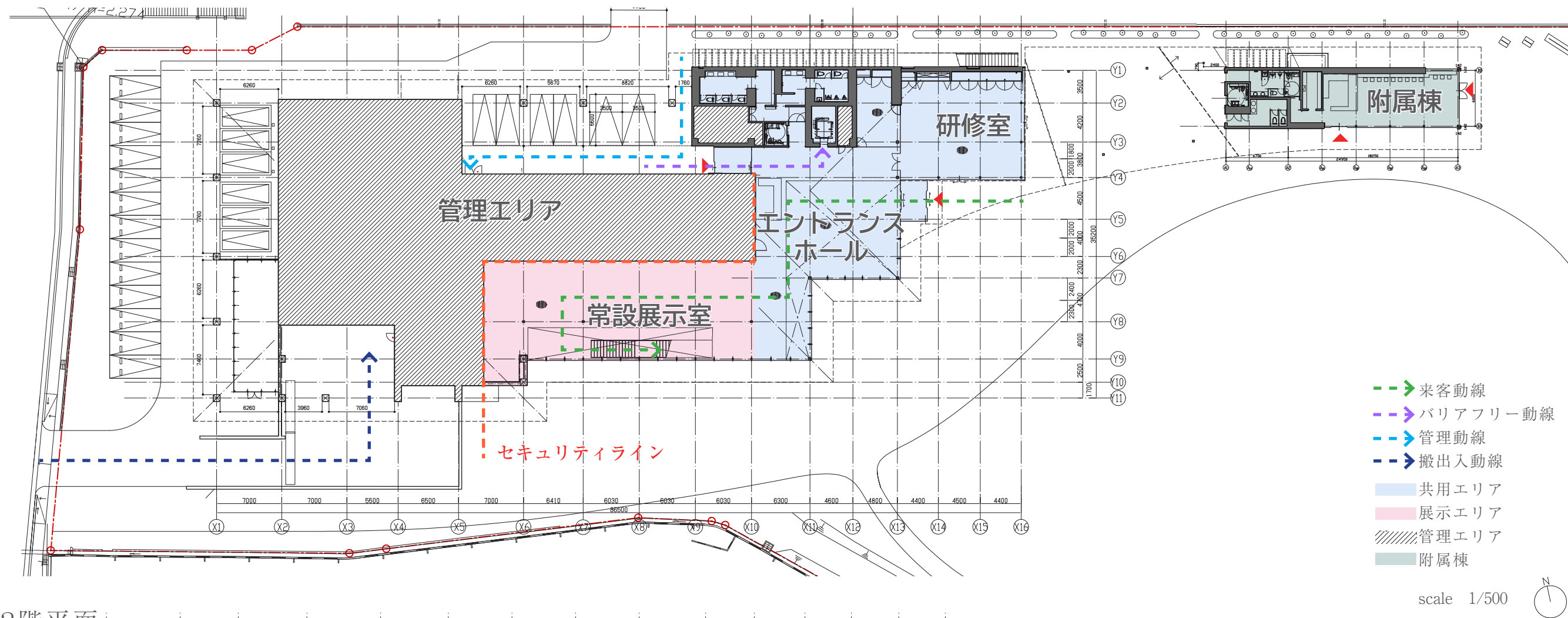
柱: 耐火塗装



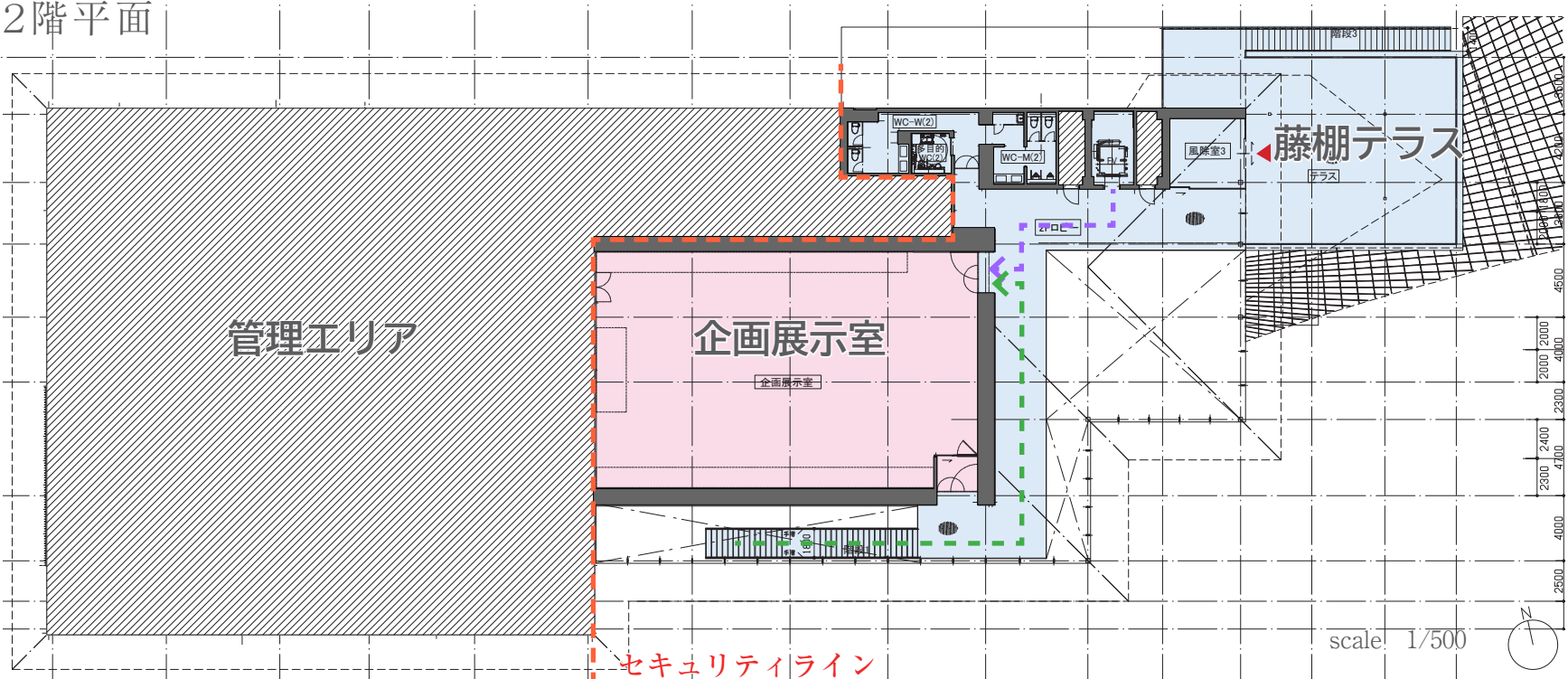
- ・天赦広場の北側に配置された研修室と附属棟は広場に開く計画とし、幅広い世代を誘導します。
- ・研修室については開放性が高い建具を採用し、天赦広場と連動する計画とします。

平面計画

1階平面図

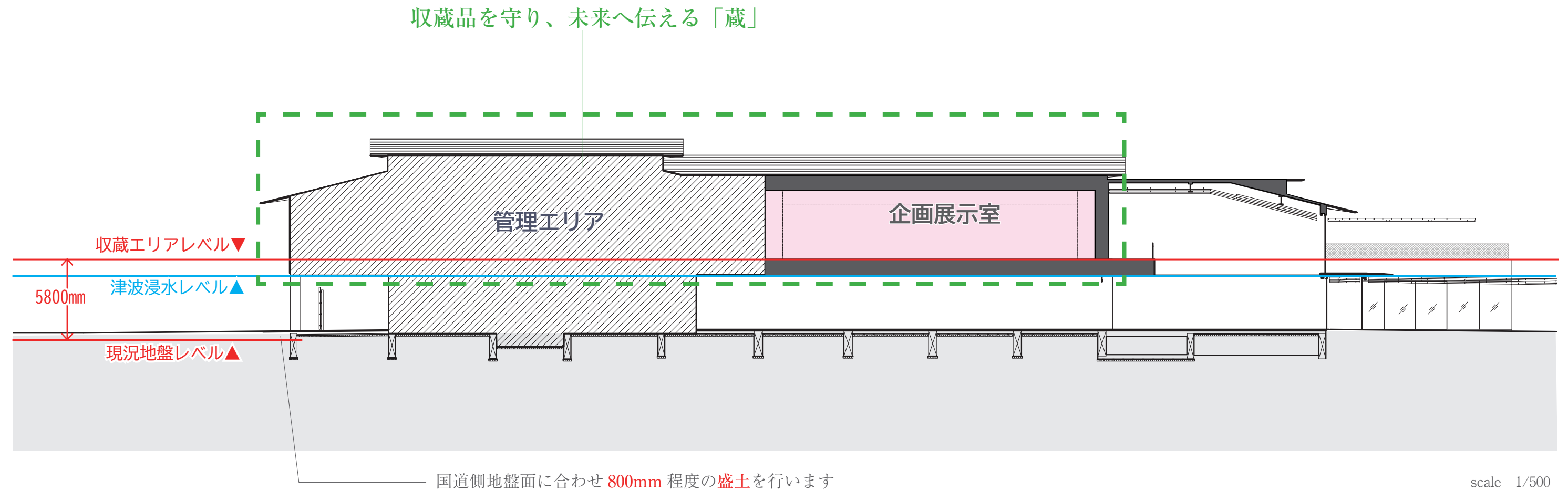


2階平面



- ・共用エリア、展示エリアをコンパクトにまとめ、管理エリア、収蔵エリアを明確に分離したゾーニングとします。
- ・コンパクトで機能的にパブリックエリアをまとめることで、来館者にとって見やすく、また、セキュリティの確保を容易にし、隅々まで管理しやすい計画とします。

断面計画



□蔵でしっかりと収蔵品を守る

- ・大地震時に敷地が津波で浸水した場合でも、収蔵品への影響が出ないよう、展示・収蔵エリアを2Fに配置します。
- ・主要な設備機器類も上階に設置することで、電力復旧後にいち早く収蔵環境を整えることが可能です。

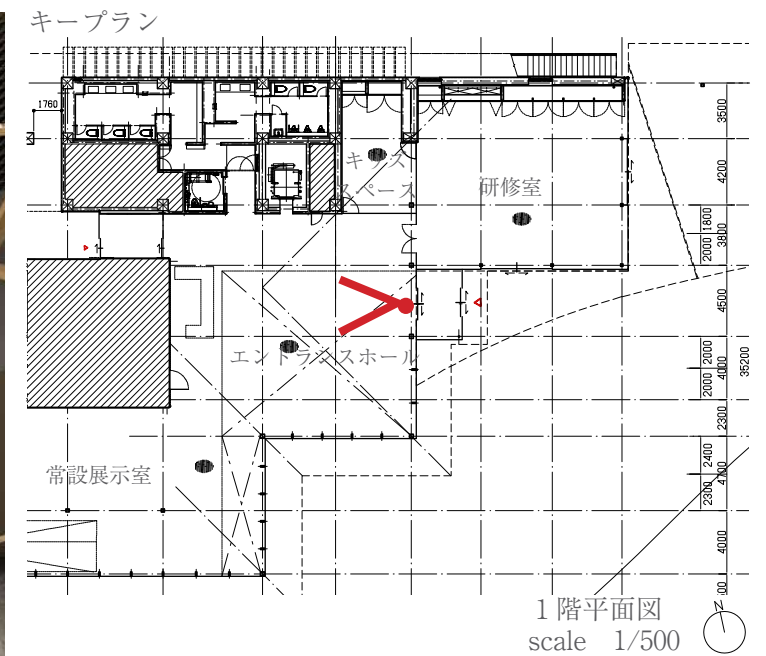
内装デザイン

□ エントランスホール

2F天井: 藤棚 同意匠の木組み (南予材)

2階企画展示室廻り壁面: 泉貨紙

1階天井: アクリル塗装



□ 機能的でありながら地場産材を活かして地域を表象するエントランスホール

- ・ 南予材をはじめとする地場産材を積極的に活用します。
- ・ 受付カウンターは宇和島藩の藩造林、2階企画展示室廻り壁面は泉貨紙等、地域の伝統に根差した素材を採用します。

床: 杉圧密加工フローリング (南予材)

受付カウンター: 杉 (藩造林)

1階壁面: 左官仕上げ (無機材)

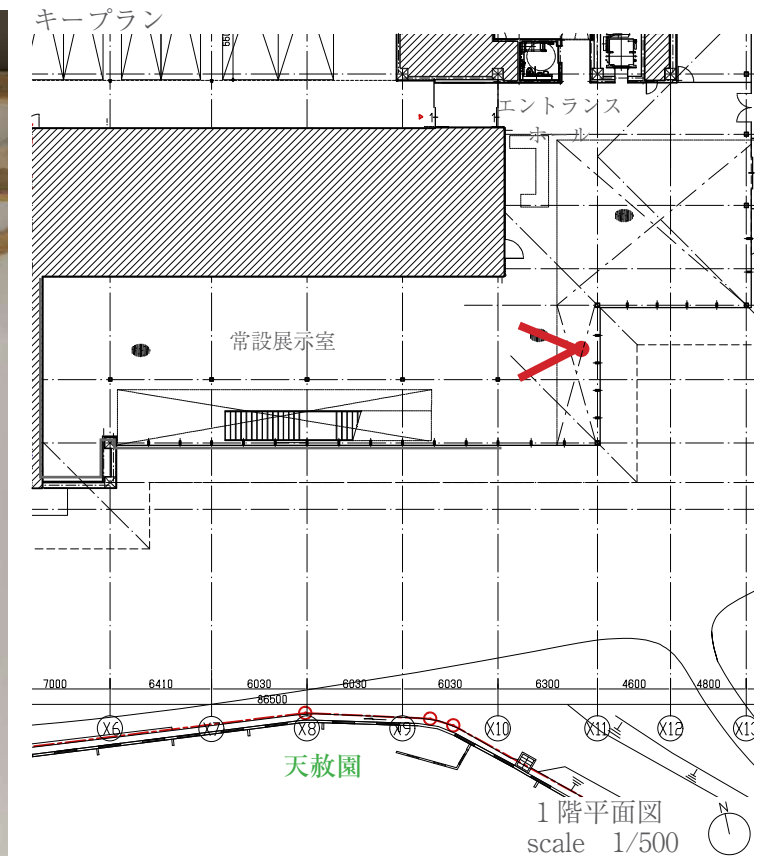
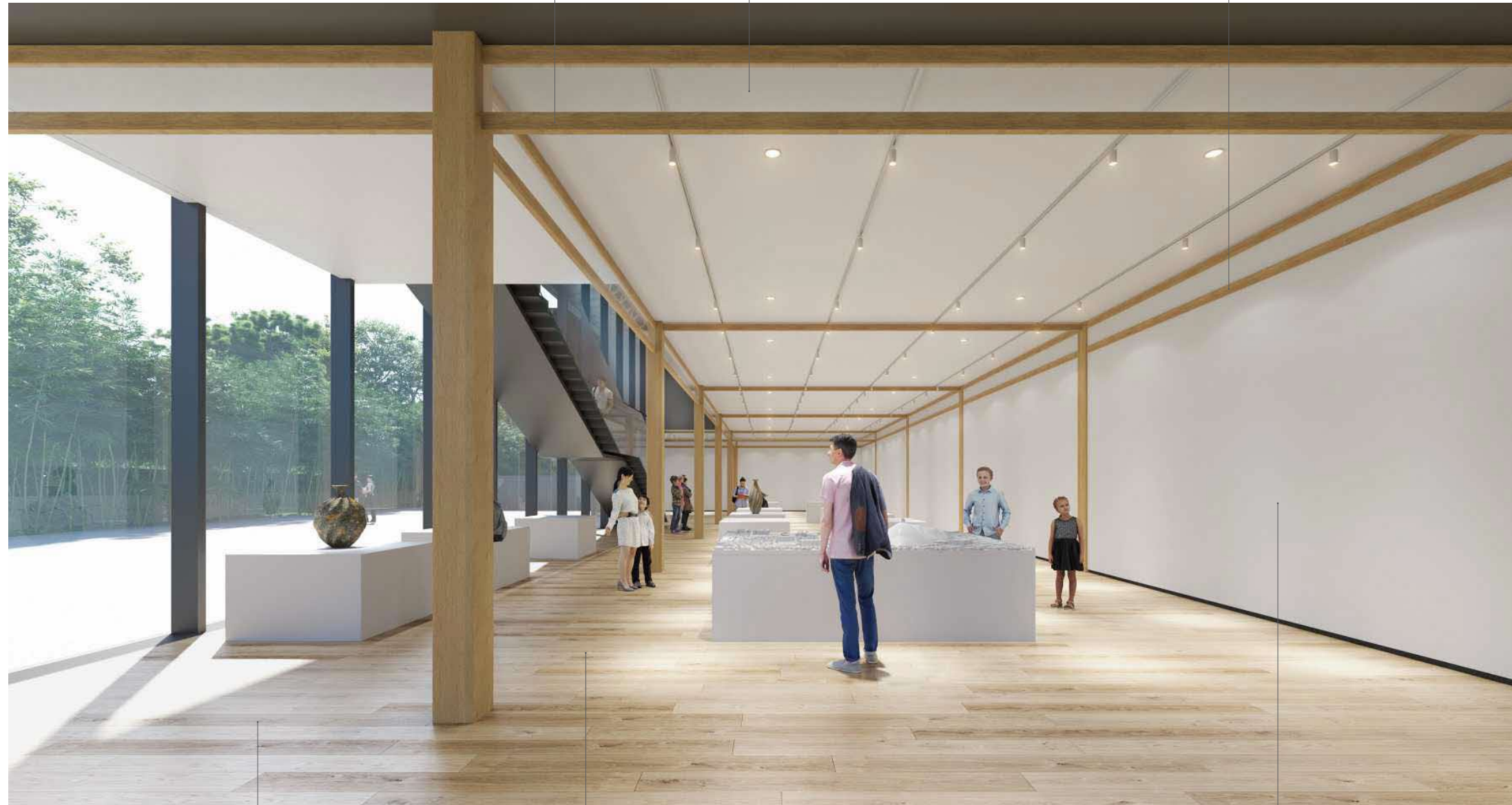
内装デザイン

□常設展示室

防煙垂壁枠:天然木突板不燃シート

防煙垂壁:強化ガラス

長押:天然木突板不燃シート



- 天赦園に対して開いた常設展示室
- ・歴史を感じながら展示を見ることが出来るオープンなスペース。
 - ・長押, 柱等の日本建築を感じさせる表現が宇和島の歴史を感じさせる意匠となります。

床: 杉圧密加工フローリング (南予材)

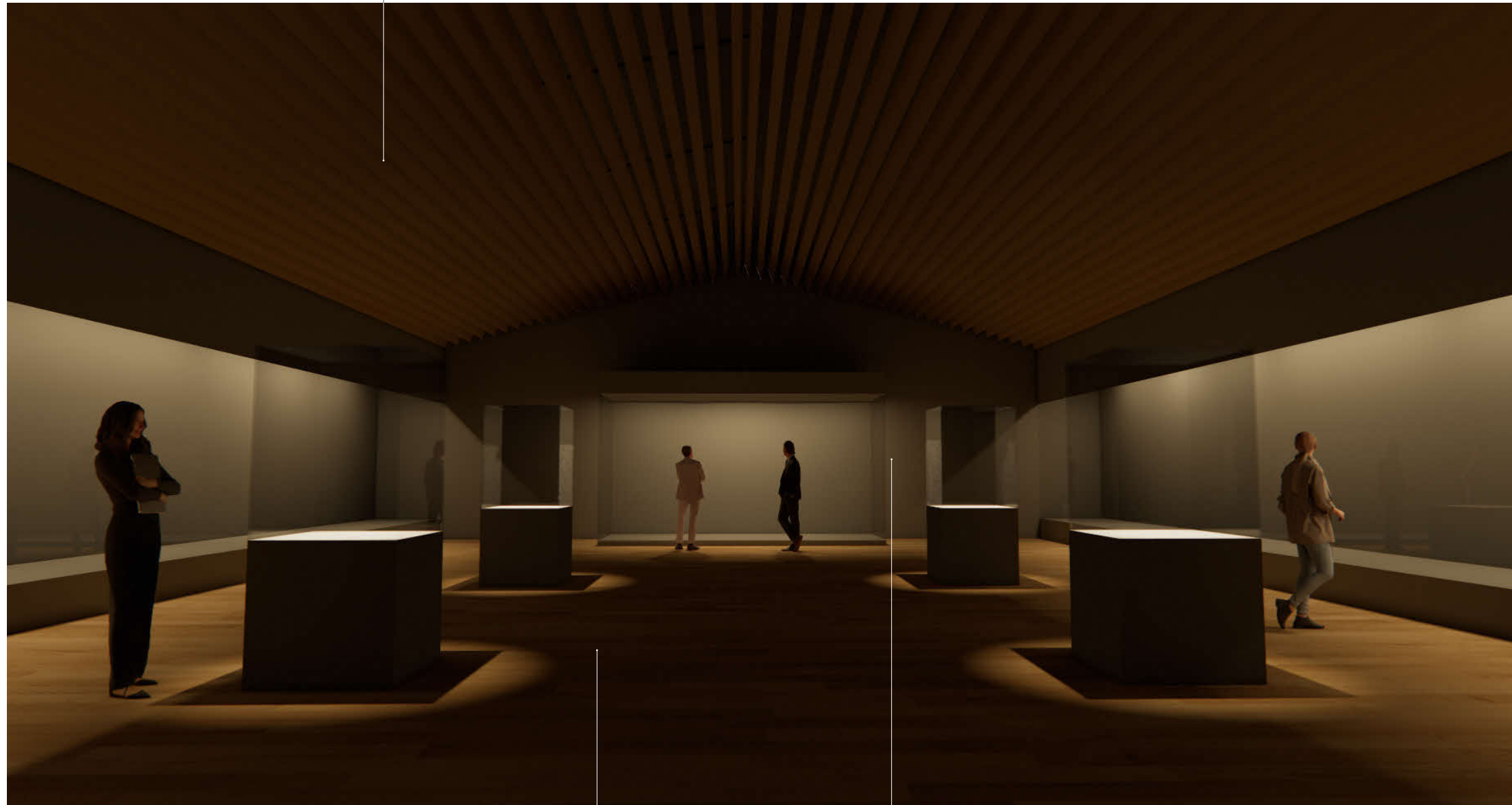
柱: セラミック系耐火被覆 + 天然木突板不燃シート

壁: アクリル塗装

内装デザイン

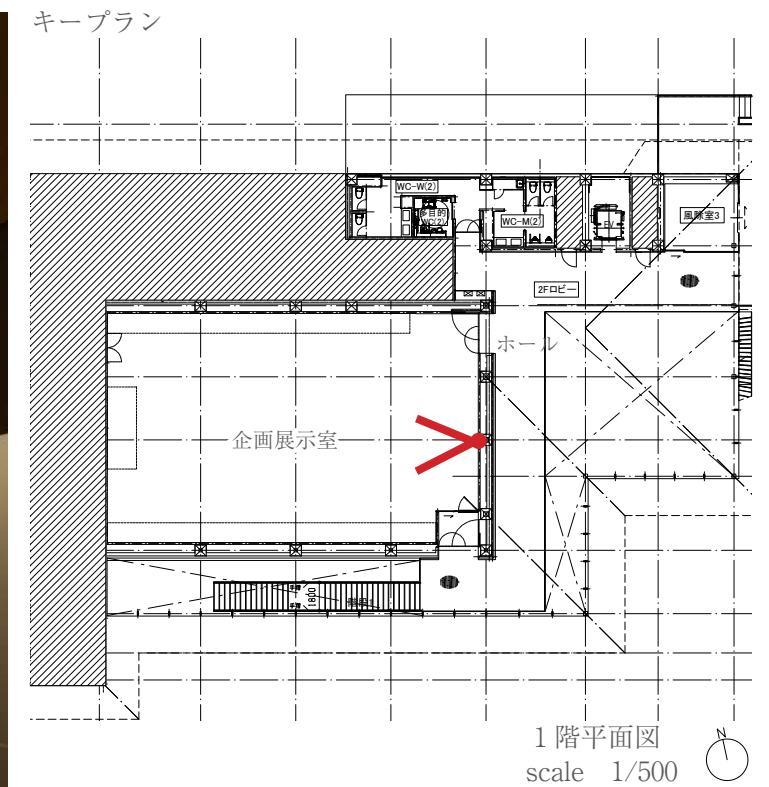
□企画展示室

天井:アルミルーバー(特注型、電解二次特注色着色)



床: 杉圧密加工フローリング (南予材)

壁: ガラスクロス貼り+アクリル塗装



- 展示品を引き立たせ、
収蔵環境を整える企画展示室
- ・展示品以外を極力意識させないよう、
シンプルで機能的な意匠とします。
 - ・屋内、天井内の各所に下地を配置し、
様々な展示に対応します。

内装デザイン

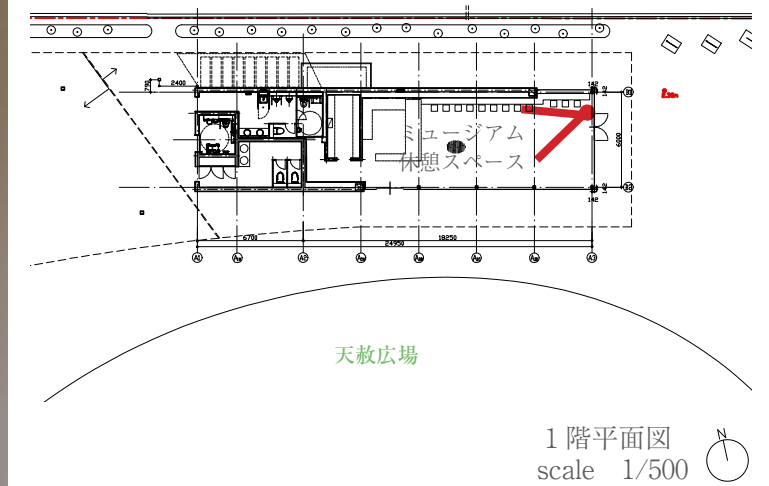
□ミュージアム休憩スペース

天井: GWマット不織布巻き

壁: アクリル塗装



キープラン



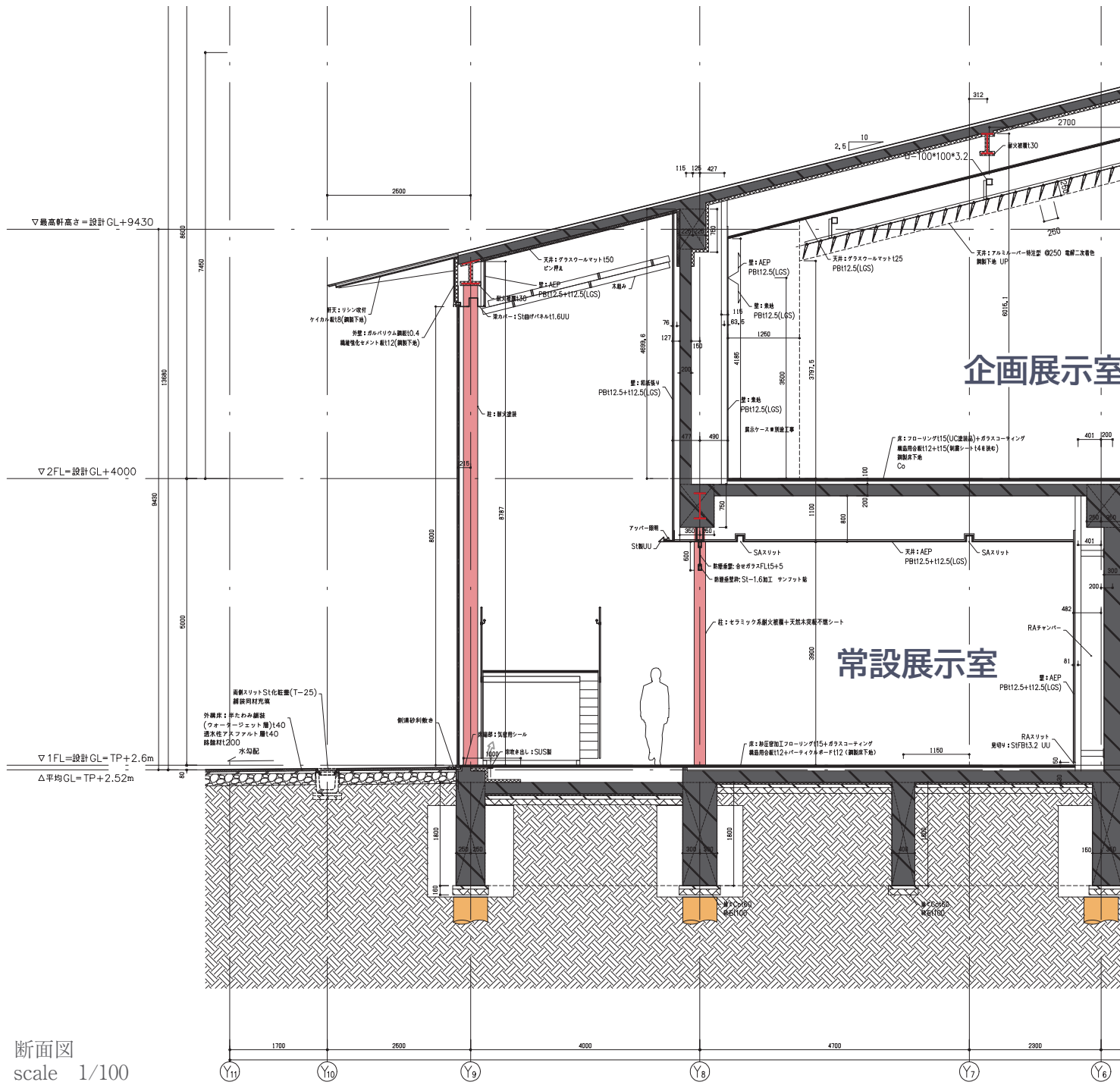
□天赦広場に大きく開く

ミュージアム休憩スペース

- ・カフェ、飲食可能な休憩スペース等、博物館と広場を連動して使用させる多目的スペースとなります。
- ・休館日でも単独での使用が可能なスペースです。

床: 杉圧密加工フローリング (南予材)

構造計画

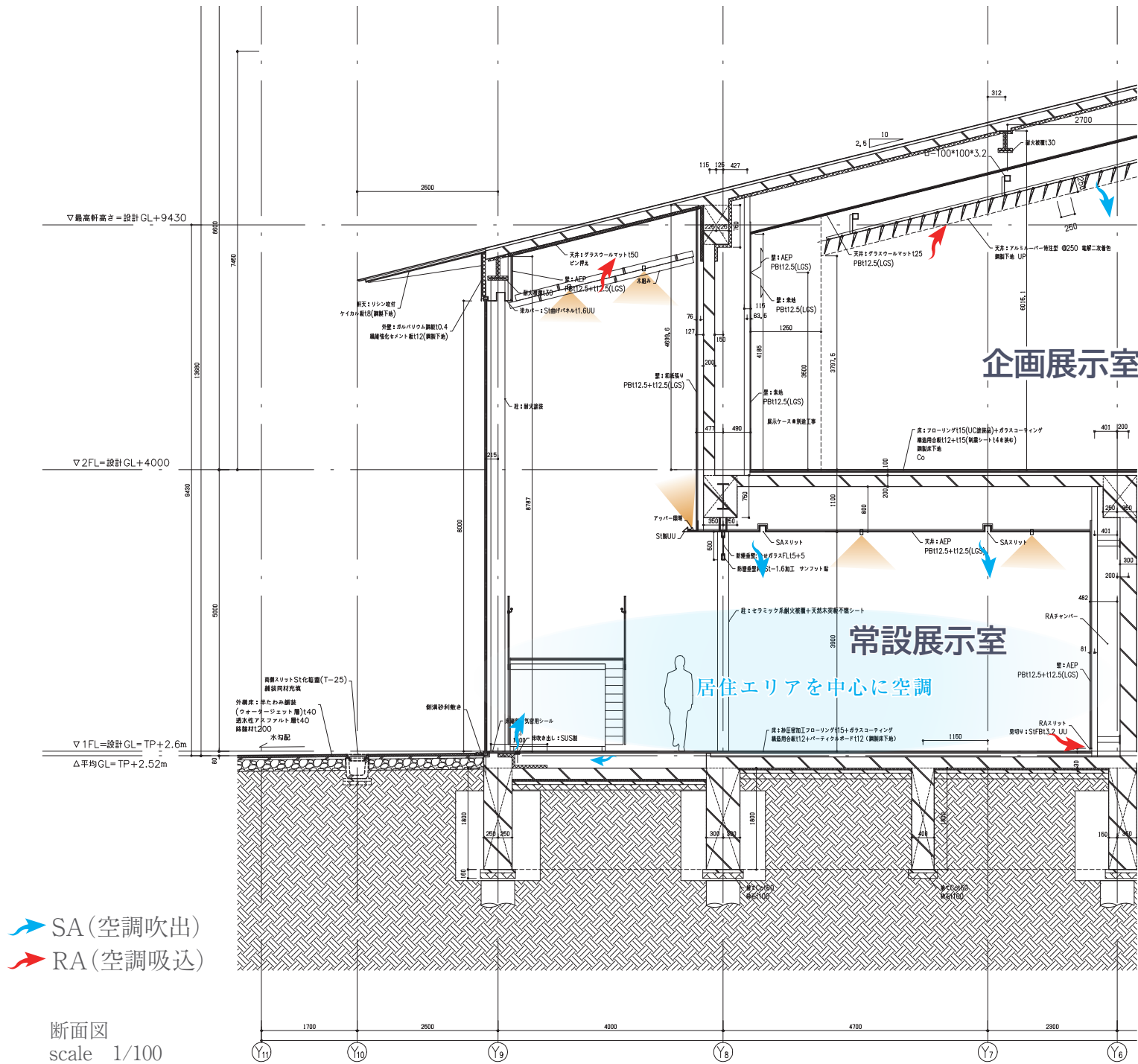


- RC 造
- 鉄骨造
- 杭

適材適所の構造計画

- ・ 周辺の一般的な建物の **1.25 倍の構造耐力**を持ち、
地震・津波に対して**人命・収蔵品を安全に守ります**。
- ・ 外部に開きたい場所に対しては開放的な空間を実現可能とする
鉄骨造とします。
- ・ 展示、収蔵エリアはしっかりと収蔵品を守るために
RC 造とします。
- ・ 敷地の地盤の状況を考慮し、
杭基礎として**強固**に支持地盤に固定します。

設備計画



□ 収蔵品を守り、環境に配慮した設備計画

- ・ LED 照明を採用し、消費電力、器具交換に配慮した照明計画とします。
- ・ 太陽光パネルを採用し、積極的に自然エネルギーを使用します。
- ・ 収蔵品に適切な展示、収蔵環境を実現する空調計画とします。
- ・ 床吹出の採用等、居住エリアを中心として空調を行い、環境に配慮します。